

山の都、おいしい水を守る

# 山都町水道ビジョン

概要版

Waterworks vision The Town of YAMATO

令和2年7月

 山都町



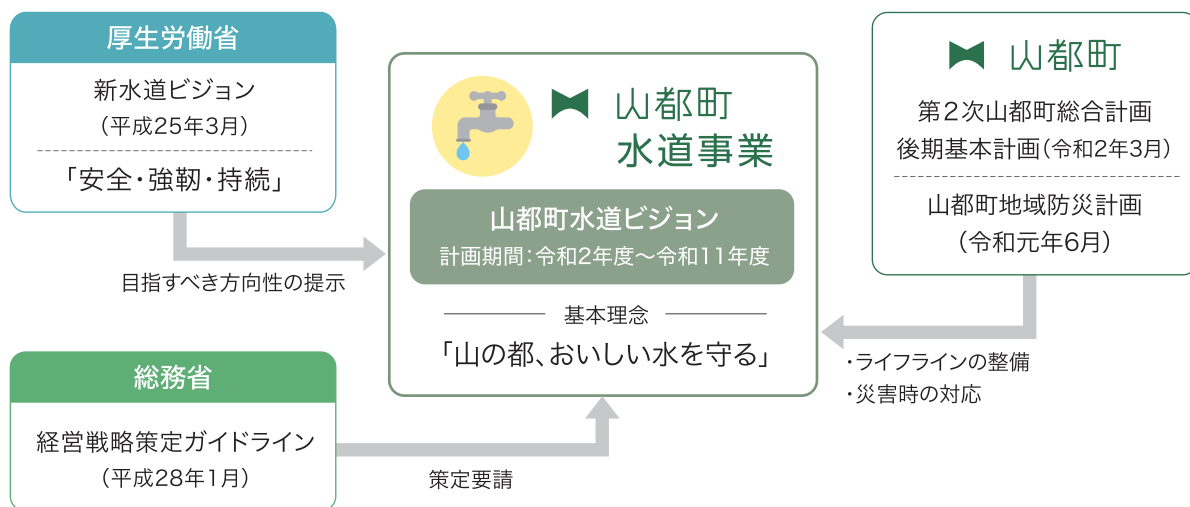
## 水道ビジョン策定にあたって

近年、水道事業を取り巻く環境は大きく変化していますが、今後も経営環境の変化に的確に対応し、持続的な事業経営に取り組んでいく必要があります。そこで、平成21年3月に策定した「山都町水道ビジョン」の次期ビジョンとして、厚生労働省の「新水道ビジョン」や総務省の「経営戦略」を踏まえ、今後10年間の目標と具体的施策を示す「山都町水道ビジョン(令和2年度～令和11年度)」を新たに策定しました。

## 位置付けと計画期間

「山都町水道ビジョン(令和2年度～令和11年度)」は、本町の最上位計画である「第2次山都町総合計画後期基本計画(令和2年3月策定)」、そして「山都町地域防災計画(令和元年6月策定)」をふまえた本町水道事業における最上位の計画となります。

また、計画期間は令和2年度から令和11年度の10年間としています。



## 基本理念と基本方針

本町水道事業は、水道施設や管路の更新・耐震化に取り組む一方で、給水収益の減少が見込まれるなかでの財源の確保や、これからの水道事業を担う人材の確保などの課題に対処していかなければなりません。そのための取り組みの共通目標として、次のとおり基本理念を掲げます。

### 山の都、おいしい水を守る

この基本理念の実現に向けて、取り組みの基本方針「安全」「強靱」「持続」に従い、山の都の水道を守り続けるための施策に取り組んでいきます。

## 投資・財政計画(経営戦略)

ビジョンで掲げた施策を推進するため、水需要の動向、建設計画および財政収支の将来見通しを試算し、それを基に今後10年間の投資・財政計画を策定しました。

### ◆ 投資計画

水道事業を将来にわたり安定的に持続させるため『安全』、『強靱』、『持続』の実現に向けた建設投資を行います。

- クリプトスポリジウム対策の強化、基幹配水池の耐震化、老朽化設備および管路の計画的更新の3事業を重点施策として推進します。

- 施設の重要度や老朽化度合いなどの優先順位に基づいた事業計画とします。

今後10年間の投資額としては、総額2,610百万円を見込んでいます。

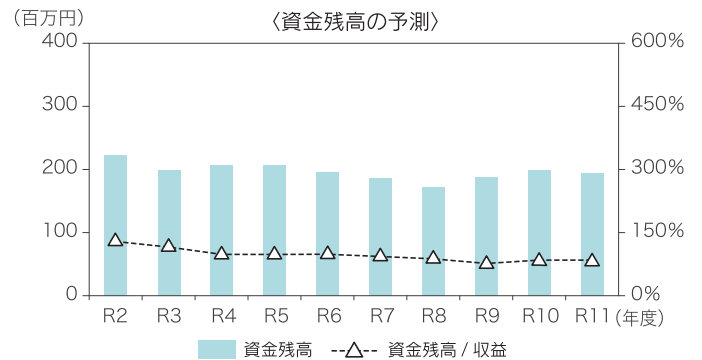
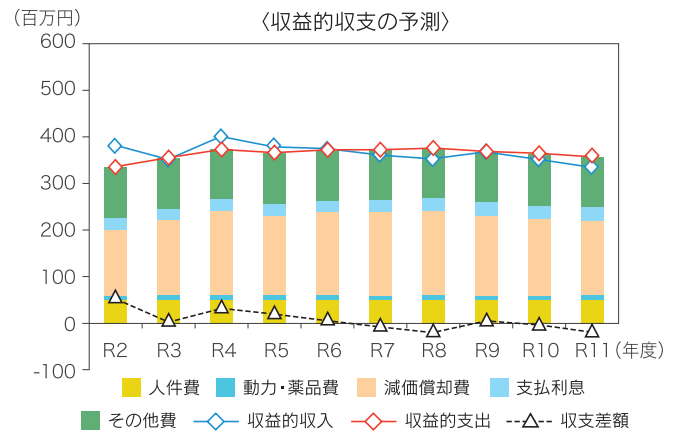
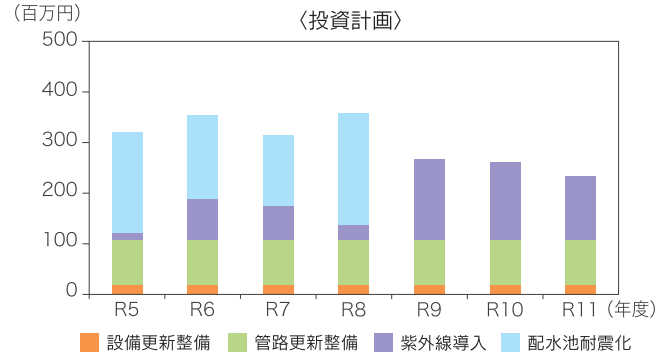
### ◆ 財政計画

将来にわたり健全経営を維持するためには、収益的収支のバランスを確保する必要がありますが、現在の水道料金では、令和3年度以降の収益的収支差額がすべてマイナスとなる見込みです。

そこで、経営効率化・健全化に関わる取り組みを徹底したうえで、適正な料金水準を検討するものとして、右図のとおり収益的収支を予測しました。

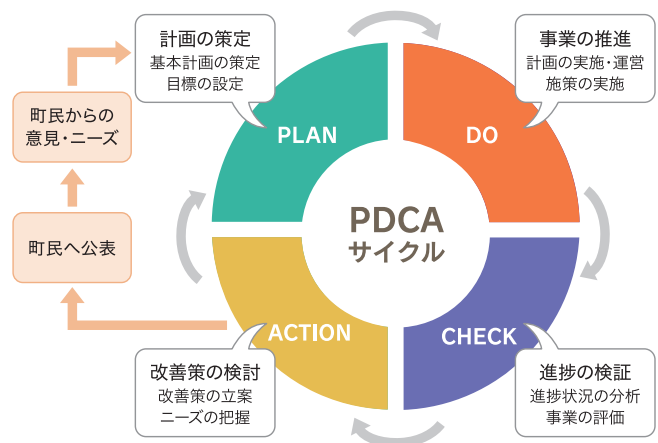
- 今後10年間の収益的収支のバランスは概ね改善し、収支差額も概ね0となる見込みです。

- 資金残高については、やや減少傾向で推移しますが、令和11年度には約200百万円を維持することができると見込んでいます。



## フォローアップ

ビジョンで掲げた施策を着実に推進するため、PDCAサイクルによる評価体制を確立します。具体的には、策定から5年のサイクルで、事業の進捗や目標の達成状況について各種指標を用いた評価をします。定期的な見直しにより、未達成項目への対応や新たなニーズを把握し、より実効性の高い施策にレベルアップするとともに、より効果的・効率的な事業の推進を目指します。



## 基本理念を実現するための基本施策と具体的施策

基本理念を実現するための今後10年間の基本施策として、3つの基本方針ごとに施策目標と基本施策(16項目)を策定しました。

### 基本方針 安全

本町では、安全で安心な水道水を確保するため、水源地の保全や水質検査の強化などに取り組んできました。更なる安全性の向上のため、浄水処理設備の強化、水質検査の徹底、鉛製給水管の解消などに取り組みます。

#### 〈施策目標〉安全・安心な給水の確保

- 施策1 水源保全対策の強化
- 施策2 クリプトスポリジウム対策の強化 **重点施策**
- 施策3 水質管理体制の強化
- 施策4 鉛製給水管の解消
- 施策5 貯水槽水道の適正管理の指導

〔「安全」に関連する指標の目標値〕

指標	H29年度実績	R11年度目標
水源の水質事故件数(件)	0	0
平均残留塩素濃度(mg/L)	0.20	0.20



馬見原水源地

### 基本方針 強靱

熊本地震のような大規模地震や豪雨災害が発生した場合でも、重要なライフラインである水道システムは出来る限り継続し、被災により断水した場合でも早期に再開しなければなりません。災害に備え、老朽化した水道施設や管路の更新・耐震化を計画的に進めるとともに、被災した場合も早期に復旧が可能となるよう、危機管理マニュアルに基づいた防災訓練や関係団体との連携強化に取り組みます。

#### 〈施策目標〉施設耐震化の推進

- 施策6 基幹施設の更新と耐震化 **重点施策**
- 施策7 老朽化管路の更新と耐震化 **重点施策**

#### 〈施策目標〉災害対応力の強化

- 施策8 危機管理体制の強化 **重点施策**

〔「強靱」に関連する指標の目標値〕

指標	H29年度実績	R11年度目標
配水池の耐震化率(%)	—	40.1
管路の更新率(%)	0.00	0.45
管路の耐震化率(%)	4.6	27.2
災害対策訓練実施回数(回/年)	0	1



管路工事の様子



応急給水



## 基本方針

### 持続

高度経済成長期に整備された水道施設や設備の多くが更新時期を迎えており、限られた財源で効率的に更新投資を行うことが重要です。人口減少に伴い不足が見込まれる給水収益の確保のため、水道料金水準の適正化が必要となりますが、施設のダウンサイジングや統廃合、広域連携と官民連携手法の導入を検討することで経営改善に取り組み、水道料金の改定率の抑制を図ります。

また、水道事業を運営するうえで必要となる技術力を着実に継承し、施設整備における新技術や経営改善手法の検討に精通した人材の育成を目指します。

そのほか、水道サービスの向上のため、手続きの利便性の改善に取り組むとともに、水道の水質や経営などに関する情報公開、利用者の方に参画して頂く山都町水道事業運営審議会を通して、利用者の皆さまに寄り添い、持続する水道事業を目指します。

#### 〈施策目標〉 経営効率の維持・向上

- 施策9 効率的な水道施設の再構築 **重点施策**
- 施策10 老朽化設備の計画的更新 **重点施策**
- 施策11 水道料金水準の適正化 **重点施策**
- 施策12 投資の最適化 **重点施策**
- 施策13 広域連携の推進と官民連携手法の検討

#### 〈施策目標〉 技術力の維持・向上

- 施策14 技術の継承と人材育成

#### 〈施策目標〉 利用者サービスの強化

- 施策15 利便性の向上
- 施策16 情報公開と住民参画

〔「持続」に関連する指標の目標値〕

指標	H29年度実績	R11年度目標
有収率(%)	73.3	81.4
総収支比率(%)	125.2	100



山都町水道事業運営審議会の視察風景



小学校の課外授業での施設見学

## 用語解説

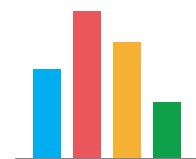
### 【クリプトスポリジウム】

ヒトなどの消化管に寄生する原生動物（原虫）であり、感染した場合、腹痛を伴う激しい下痢、腹痛、発熱などを引き起こします。塩素に強い耐性があるため、塩素殺菌で死滅させることは困難です。



### 【総収支比率】

総費用が総収益によってどの程度賄われているかを表しています。



### 【有収率】

有収水量を給水量で除したものであり、施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかどうかを確認できます。

## 山都町水道ビジョン 概要版

環境水道課

〒861-3592 熊本県上益城郡山都町浜町6番地  
TEL 0967-72-1111 FAX 0967-72-1080